

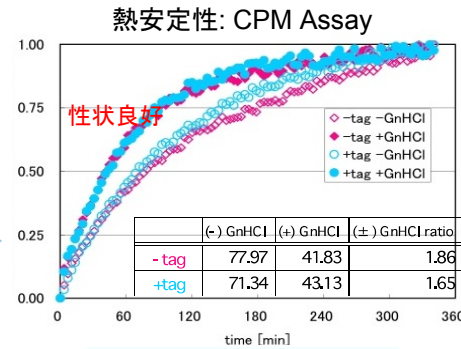
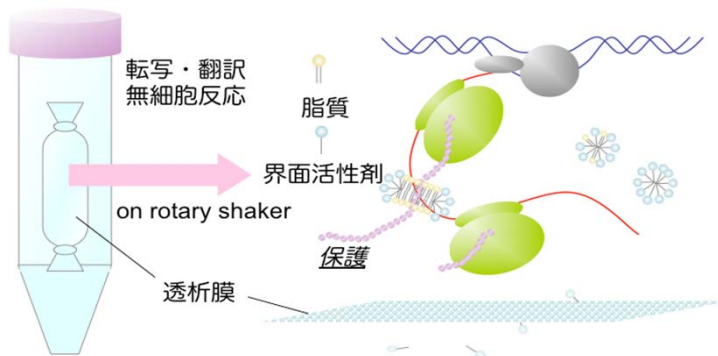
# 參考資料

# I. 技術開発研究

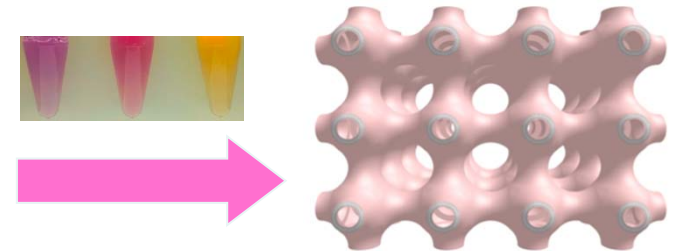
## 「I-① 生産領域」の成果の例①

### 【膜タンパク質解析のための技術基盤】

膜タンパク質構造解析のための無細胞タンパク質試料調製及び結晶化の新規技術を開発した。本技術により、従来の方法では困難であったヒト膜タンパク質等の試料調製および結晶化が実現し、構造解析が可能となった。 横山茂之(理研),岩田想(京大)



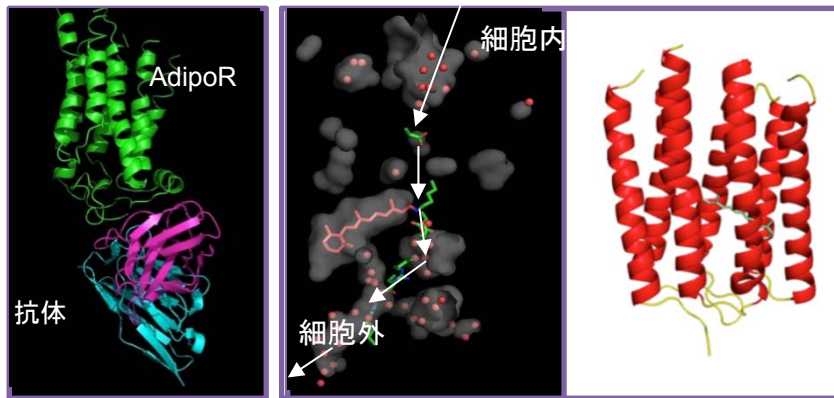
40°Cにおける半減期は77 min  
→十分な熱安定性



脂質メソフェーズ法による結晶化

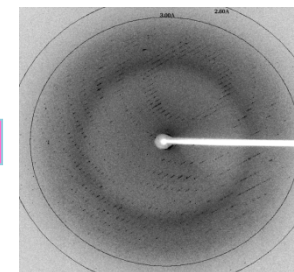
性状評価・改良 ← 特異的脂質の添加など

無細胞タンパク質合成法は、特に膜タンパク質の調製に高い優位性を示した。



アディポネクチン受容体・抗体との複合体結晶構造解析(2.56Å分解能)に成功 (細胞発現)

真核単細胞生物のロドプシンARIの結晶構造解析(1.7Å分解能)に成功



高解像度反射データ

各種ロドプシン、ケモカイン受容体(GPCR)、細胞接着タンパク質、など

